

「子どもの心の問題」の例（受診理由と診断名）

1. 年齢

概ね0歳から18歳（胎児期～？～キャリアオーバー？）

2. 「子どもの心の問題」に関する受診理由

（いずれも年齢不相応な状況であること）

1. 発達の偏り（言葉の遅れ、社会性の遅れ、など）
2. 学習の問題
3. 不登校・引きこもり
4. 行動の問題（多動、衝動、暴力、非行、性非行、など）
5. 食行動の問題（拒食、過食、など）
6. チック症状・汚言、その他の常同行為（吃音、爪噛み、など）
7. 睡眠の問題（夜驚、不眠、など）
8. 排泄の問題（夜尿、遺尿、遺糞、など）
9. 身体疾患ではない身体症状（手が動かない、視力の低下、頻尿、意識障害、など）
10. 身体疾患であるが、心の問題や環境が症状形成に大きく影響しているもの（気管支喘息、摂食障害、円形脱毛症など）
11. 場面による緘黙（学校で話さない、など）
12. 強迫行動（手洗いが止まらない、儀式的な行動、など）
13. 分離不安（親から全くはなれることが出来ない）
14. 予期不安、回避（ある一定の場所に近づけない、特定の人を怖がる、など）
15. 過剰な不安（自分が過去にしてしまったことを不安がる、など）
16. 不安定な対人関係、他人への過剰な甘え
17. 解離症状（自分が自分でない感じ、記憶がない、別の人格が出てくる、など）
18. うつ状態（悲しくて涙が止まらない、など）
19. 躁状態（ハイな状態になってコントロールできない、など）
20. 幼児および学童の性化行動
21. 自分の性が異なると信じる、他の性の格好をする、など
22. 自傷行為
23. 自殺企図
24. 奇妙な言動、幻覚・妄想
25. 虐待を受けた体験
26. その他の恐怖体験（犯罪や事故の被害・目撃、災害、その他）
27. その他

3. どのような「心の問題」があるのか

<診断名> (ICD-10に準拠)

F90-98 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害

F90 多動性障害

F91・92 行為障害（家庭内暴力・非行など）

F93 小児期に特異的に発症する情緒障害（分離不安障害、恐怖症性不安障害、社会性不安障害、同胞葛藤性障害、など）

F94 小児期および青年期に特異的に発症する社会的機能の障害（選択性緘黙、愛着障害、など）

F95 チック障害

F98 その他（非器質性遺尿症・遺糞症、異食症、常同性運動障害、吃音、など）

F80-89 心理的発達の障害

F80-83 特異的発達障害（発達の一部のみが遅れる障害…含 学習障害）

F84 広汎性発達障害（自閉性障害、アスペルガー障害、など）

F70-79 精神遅滞

F60-69 成人の人格および行動の障害

F60-62 人格障害

F63 習慣及び衝動の障害（抜毛症、など）

F64 性同一性障害

F65 性嗜好障害

F66 他の人格及び行動の障害（虚偽性障害、など）

F50-59 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群

F50 摂食障害（神経性無食欲症、大食症、など）

F51 非器質性睡眠障害（不眠症、過眠症、睡眠時遊行症、夜驚症、悪夢、など）

F55 依存を生じない物質の乱用

F40-48 神経症性障害、ストレス関連障害、および身体表現性障害

F40 恐怖性不安障害（広場恐怖、社会恐怖、など）

F41 他の不安障害（パニック障害、など）

F42 強迫性障害

F43 重度のストレス反応および適応障害（急性ストレス反応、外傷後ストレス障害、適応障害、など）

F44 解離性（転換性）障害（解離性障害、転換性障害、多重人格障害、など）

F45 身体表現性障害（身体化障害、心気障害、など）

F30-39 気分（感情）障害

F30 躁病エピソード

F31 双極性感情障害（躁鬱病）

F32 うつ病エピソード

F33 反復性うつ病性障害

F34 持続性気分（感情）障害

F20 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害

F10 精神作用物質使用による精神及び行動の障害

F00 症状性を含む器質性精神障害（病気に伴う精神障害）

4. 治療・ガイダンスの対象

(1) 子ども自身への治療

(2) 親へのガイダンス（時には親への治療）

(3) 家族

5. 必要な連携の対象

(1) 院内連携

（チーム医療、コンサルテーション/リエゾン、コメディカルとの連携）

(2) 院外連携

（学校・幼稚園・保育園・保健所・児童相談所・児童福祉施設・警察・司法・市町村保健センター・市町村福祉などとの連携、虐待対応の協議会、その他）

